

川来門大湾 長さ二里一百歩あり。百姓の家あり。
御嶋 周り二百八十歩、高さ一十あり。中は東西に通れり。椿・松・栢あり。



島根町の加賀浦 長さは七三メートル。御嶋は加賀浦の、現在は陸続きになっている標高四〇メートルほどの小高い半島と思われる。周囲四九メートル、高さ三〇メートルとあり。記載と現在の高さがずれている。

葛嶋は、加賀湾に浮かぶ島々で一番大きい桂島にあたる。周囲は七三メートル、高さ一五メートル。柳嶋は桂島の東方、現在は陸続きとなっている島と思われる。周囲四二メートル、高さ三〇メートルとある。許意嶋は桂島の西北にある粟島。周囲は一四三メートル、高さ三〇メートル、高さ三〇メートルとあり。

一トル。真嶋は粟島北方の馬島。周囲は三二二メートル、高さ三〇メートルとある。
比羅嶋は粟島西方の平島。黒嶋は桂島の西方八〇メートルの所にあり。今も黒島と言つ。名嶋は桂島西方の二子島。周囲三二二メートル、高さ二七メートルとある。赤嶋は桂島西南の赤島。



大崎湾 長さ一里一百八十歩あり。西北に百姓の家あり。須須比崎。白波あり。



大崎湾は島根町の大戸浦。長さは八五メートル。またこの浦は、海食作用でできた「洗濯岩」と呼ばれる見事な岩礁海岸が続いている。須須比崎は大戸浦の北方に突出している岬。

御津湾 長さ二百八歩あり。百姓の家あり。
鹿島町の御津浦 長さは三二七メートル



三嶋 海藻生へり。
御津浦の西口にある小島で男島とも言つ。後ろに原子力発電所が見える。



虫津湾 長さ二百二十歩あり。
鹿島町の片句浦のこと。長さは二四メートル



手結崎 濱邊(二つの檜あり)に崖あり。高さ一丈裏の周りに三十歩あり。
鹿島町手結浦の北方に突出している大堀鼻のこと。現在は浜辺の岩穴はハナケリと呼ばれている。



手結浦 長さ四十二歩あり。船二つ許泊つべし。
鹿島町の手結浦のこと。長さは七五メートルで船が一隻ばかり停泊できたらしい。

久宇嶋 周り一百三十歩、高さ七丈あり。松あり。
手結浦西方の寺島のこと。周囲は二三メートル、高さは二メートル。今は陸続きになっている。



秋鹿郡



地図上の数字は、本文に記した太数字のあとに紹介する島や浜などの位置する範囲を示しています。

22 惠曇湾 長さ二里一百八十歩あり。東、南は並に家あり。西は野、北は大海なり。即ち浦より在家に至るまでの間、四方並びに石木なく。白沙の積れるがごとし。大風の吹く時は、其の沙、或るは風の随に言のつく零り、或るは居ながら流れ、蟻のごとく散り



桑麻を掩覆す。即ち彫り鑿てる磐壁二所あり。一所は厚さ三丈、長さ一丈、高さ八尺あり。一所は厚さ二丈二尺、長さ一丈、高さ一丈あり。其の中を通れる川、北に流れて大海に入る。川の東は嶋根郡なり。西は秋鹿郡の内なり。川の口より南の方、田の邊に至るまでの間、長さ一百八十歩、長さ一丈五尺あり。源は田の水なり。上の文に謂はゆる佐太川の西の源は、是の同じき處なり。凡そ、渡村の田の水は南と北とに別るなり。古老の傳へに云へらく、嶋根郡の大領、社部臣訓麻呂が祖、波蘇等、稻田の傍に依りて彫り堀りたる所なり。浦の西の磯より起りて、楯縫郡の堺なる自毛崎に盡る間の濱は、壁崎ちて佳夷しく、風静かなりと雖も、往來の船、停泊する頭なし。

島根半島最大の規模を誇る、八束郡鹿島町惠曇漁港 一帯の海岸にあたる。長さは浜の中で一番の一・三九〇キロ。長いだけあって説明もそうとう長く、当時はあたり一面砂丘で、桑や麻が栽培されていたことを窺わせるよすがな、いくつもの興味深い記述が見

られる。また、この浜から西に向かつて楯縫郡との境の自毛崎までは絶壁で、けわしい海岸が続く。船を泊める所がないとある。やはり今でもそうとうけわしい。

23 白嶋 紫苔菜生へり。
鹿島町芦尾浦の鼻線島。その名のとおり、まわりの島々と比べて白っぽい。穴も開いている。



御嶋 高さ六丈、周り八十歩なり。松三株あり。
鹿島町魚瀬浦の女島で、現在は三島神社が祀られている。周囲一四三メートル、高さ二八メートル



24 都於嶋 磯なり。著穂嶋 海藻生へり。
都於島は平田市地合浦の大黒島、著穂島は同浦の黒島



楯縫郡

24 自毛崎 秋鹿と楯縫との二郡の堺なり。崖鬼し。松・栢鬱れり。時に即ち晨風の栖有り。

平田市坂浦の東方にある牛首といふ岬のこと。ここが秋鹿と楯縫郡との境だった。岩壁が切り立っているところがあるが、今もかなり険しい岬だ。



佐香湾 長さ五十歩あり。
平田市坂浦で、長さは八九・一メートル



25

己自都湾 長さ九十二歩あり。
平田市小伊津にあたり、長さは一六四メートル

26

御津湾 長さ三十八歩あり。
現在の三津浦で、長さは六八メートル

御津湾 長さ三十八歩あり。
現在の三津浦で、長さは六八メートル

27

能呂志湾 長さ八歩あり。
能呂志湾は平田市唯浦にあたり、長さ八歩(一四m)と浜の中では最も短い。



御津嶋 紫菜生へり。
平田市三津浦湾内の島と思われるが、現在は小さい岩島のみで、どの島を指したものか不明。